

# T u t t i

岡山県合唱連盟機関紙トゥッティ90号

発行責任者：事務局長 内田 毅

事務局：岡山市中区福泊 168-7 内田方

TEL:090-4695-7826/FAX:086-274-2726

e-mail : utida244@yahoo.co.jp

## 主な内容

2面 全日本男声合唱フェスティバル

3面 おかあさんコーラス全国大会  
中国合唱コンクール

4面 コンサート情報  
事務局通信

## 第53回中国合唱コンクールを終えて

岡山県合唱連盟理事長 小池芳弘

平成26年9月20日(土)、21日(日)の2日間、広島の上野学園ホールに於いて第53回中国合唱コンクールが開催された。大学職場一般部門が、大学ユース・室内合唱・混声・同声の編成に分かれて二年目の大会である。

岡山県からは8月3日の県コンクールを勝ち抜いた8団体が参加した。我が岡山県代表は県コンから約一ヶ月半の短い期間で修正を加え、本番は見違える演奏であった。参加された皆様、本当にお疲れ様でした。結果は別枠で掲載されるので、大会2日間57団体の演奏を聴いた感想を述べたいと思う。

まず中国支部全体のレベルが非常に高くなったと感じた。特に鳥取県は目を見張る成長を遂げている。山田鳥取県理事長の話では、県をあげて発声講習会を開催していることと、技術向上のために外部から指導者を招き、日々努力を重ねている団体が多いことが成果の理由。

次に、中国5県それぞれに特徴があるのだが、鳥取県はどの団体も声の響きが素晴らしいと感じた。中学高校はもちろん、全ての部門で群を抜く圧倒的なレベルの高い演奏で、鳥取県から出場した13団体のうち、12団体もが金賞を受賞し、全国大会へも7団体が出場権を得た。

中国合唱コンクールは中国5県の持ち回りで来年が鳥取、再来年平成28年度は岡山となっている。ぜひ皆さんも、参加はもちろん、各部門を通して聴いていただきたい。必ず新しい発見があり、合唱団の方向性が見えてくると思う。

次に、演奏された作曲者に少し触れると、圧倒的人気の信長貴富、松下耕をはじめ、邦人の作曲家を選曲した団体が多かった。昭和の時代に比べ、今では数多くの合唱作品が生まれてい

ることに喜びを感じ、また、若手作曲者の曲を聴けるもの刺激になる。こういった数多くの作曲家の中でも今年とくに注目されたのは、三善晃の作品である。合唱界にとって大きな存在であった三善先生が、昨年他界したこともあり5団体を取り上げた。演奏した各団体とも、作曲者への想いと、素晴らしい曲のメッセージが客席に届いた。

最後に、全国大会の演奏を聴ける絶好のチャンスを紹介したいと思います。

中学高校部門は10月25日・26日岩手県で、このTUTTIが出来上がる頃にはすでに終了しているが、大職一部門は11月22日(土)・23日(日)に、お隣高松の香川県民ホール(あなぶきホール)での開催です。全日本の事務局に伺ったところ、当日券購入で十分入場可能ということ。22日が大学ユースの部と室内合唱の部、23日が同声合唱の部と混声合唱の部です。マリンライナーで約1時間、全国レベルの合唱を聴くチャンス！岡山県からは、合唱団こぶが出場します。混声合唱の部で連続6回目の出場となる合唱団こぶ。皆さんもぜひ、応援を兼ねて、合唱仲間などお誘い合わせの上、高松の全国大会へ、足を、耳を！運びましょう！(写真は初出場の総社中学校合唱団)



# 全日本男声合唱フェスティバルを聴こう！

副理事長 松下泰久

岡山県合唱連盟の会員の皆様がこの『トゥッティ』を目にされる頃にはすでに既に本番まで一ヶ月を切っているでしょう。残る期間で我々岡山県連のスタッフは何ができるでしょうか？

私にとって岡山の地に合唱の「全国大会」がやって来る機会に出会えたこと、最近で言えば、平成20年11月の全日本合唱コンクール全国大会の大学・職場・一般部門、それに平成22年10月の第25回国民文化祭・おかやま2010がすぐに思い出されます。もちろんコンクールの中国大会なら一番近いもので言えば平成23年度にありました。これらにはスタッフとしても参加することができました。

特に全日本の全国大会の時は、審査係で計時を担当していましたので、二日も岡山シンフォニーホール舞台の真横から指揮者と合唱団の横顔、それにそれぞれの合唱団から提出された楽譜を眺めながら息を詰めてストップウォッチを握っていた覚えがあります。制限時間ギリギリになる演奏も多く、何団体かは「制限時間まであと数秒」のタイミングで指揮者が振り終えることもあり、仮に時間オーバーになっても計時係の責任ではないのですが、それでも責任を感じつつ緊張が続いた覚えがあります。しかし、通常、指揮者をこの角度からずっと眺めて演奏を聴く機会はありません。それゆえ、その指揮者の息づかいやその表情、また細かなバトンテクニックなど、背中側から見たのでは見えないものも多く目にすることができました。(それが今の私にどのように活かされているかは全く別物ですが…)随分「役得」の思いをしながらの業務でした。

ここからが本論です。既に、2年前の全国男声合唱フェスティバル会津大会の感想はその年の『トゥッティ』に載せていただきました。また、今回全国の方々をお迎える気構えらしきものは全日本合唱連盟の機関誌『ハーモニー』秋号に載せていただいております。その両方ともに書いたことの一つが「おもてなし」のことなのです。

確かに響きの素晴らしホールを準備してくださり、受付から解散まで私にとっては何の不満もありませんでした。

ステージへの移動の通路には2箇所、お酒にするための別の種類の「銘水」が置いてあり、乾燥しがちなおじさんの喉には随分とありがたかった氣もします。誘導をしてくれた学生も随分と丁寧な対応で、緊張を和らげてくれる言葉も何度か掛けてくれました。ただ、この紙面をお借りして岡山県連の皆さんに「同じ事をしませんか」というものではありません。ここでお伝えしたかったことは、本番前日から現地入りして、福島県連の方々の「熱いやりとり」なのです。時間の空いたときに会場内を歩いてみると、お母さん部門の方々も走り回っていますし、当然不備があればそれを改善すべく大きな声でやりとりしている様子も見えます。2学期末考査前の勉強に忙しいはずの高校生スタッフもそれぞれ割り当てられたポジションで懸命に笑顔を決やさず誘導や受付をしてくれています。「大会を成功させよう」という熱意は、一般部門だとかお母さん部門だとか、そんな縦割りの区分には関係なく「東北の・福島のおもてなし」として収斂されています。それは合唱王国福島のプライドだったかも知れません。合唱に関わることで全国のどこにも負けたくない、と。その心意気が「おもてなし」だったのではないのでしょうか。決して、お酒や料理のことではありません。

私たち岡山でも多くの方々の協力が得られ、着々と準備が進められていると伺っています。本当にありがとうございます。当日スタッフとして参加してくださる皆様、どうぞ笑顔でよろしくお願ひします。また、当日は都合でスタッフとしてホールや練習会場での業務はできないという方々も、客席と一緒に聴く「仲間」を増やすという大切な「業務」があります。

そういう意味で、県連に所属されている方々お一人お一人が実は大切なスタッフなのです。この文章の冒頭で申し上げました、「残る期間で我々岡山県連のスタッフは何ができるでしょうか？」という問いかけに対して、皆様、どんな答えが出てきましたか？

(シンボルマークデザイン：植原綾乃さん)





## 第37回全日本おかあさんコーラス全国大会

真夏の8月23日(土)、24日(日)の両日、新潟市の「りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館」で第37回全日本おかあさんコーラス全国大会が開催されました。岡山県からは「コール・ココ」が代表として出場され、選考委員奨励賞を受賞されました。余談ですが、「りゅーとぴあ」と聞き、私はてっきり楽器のリユートにちなんだ名前かと思っていましたが大間違い。愛称の由来は、江戸時代に花柳界の一大文化圏をかたちづかった新潟の別称「柳都」にちなんだものだそうです。

「りゅーとぴあ」(1998年10月オープン)は、コンサートホールや劇場、能楽堂のほか、ギャラリーやリハーサルスタジオなどを完備した日本有数の劇場建築であり、高い稼働率を誇っているとのことでした。周りには緑があふれ、最上階のレストランにからは、目の前に広がる屋上庭園、眼下には信濃川、日本海、そして遠くに佐渡島を見渡せる絶景を楽しむことができました。日本酒、茄子の漬物が美味しかったですね。残念ながら「のどぐろ」を食べられませんでした。

余談が長くなりましたが、コール・ココさんからコメントをいただきました。

### 「選考委員奨励賞」を受賞して

コール・ココ 谷本佳寿穂

「第37回全日本おかあさんコーラス全国大会」に総勢28名で参加しました。残暑厳しい岡山を出発し、車窓の豊かな田園、山々、河川を眺めながら信濃川の豊かな水で育てられたお米とお酒が魅力の街、新潟に向かいました。

会場の「りゅーとぴあ」は、「音響家が選ぶ優良ホール100」にも選定されている素晴らしいホールです。この舞台上で歌える幸せを感じ、本番は緊張しましたが、言葉を伝えよう、心を届けようといみんなの気持ちがひとつになって歌えてよいと思います。「選考委員奨励賞」を長谷川冴子先生からいただくことが出来、本当にうれしかったです。この賞を励みにこれからも精進してまいります。この素晴らしいホール、新潟の美味美酒、仲間たちと分かち合った喜び、素晴らしい思い出を作ることが出来ました。

最後になりましたが、大会関係の皆様には心より感謝申し上げます。



## 中国合唱コンクール

9月20日(土)、21日(日)広島市の上野学園ホール(旧広島郵便貯金会館)で第53回中国合唱コンクールが開催されました。岡山県からは8団体が出場しました。その結果は下表のとおりです。大学一般職場部門混声合唱の部は特に厳しい戦いを繰り広げましたが、我が県代表「合唱団こぶ」が全国大会への切符を勝ち取りました。

全日本合唱連盟理事長賞も2年連続で受賞されました。高松での期待が高まります。

団体名	中国大会成績
総社市立総社中学校	銅賞
総社市立総社西中学校コーラス部	銀賞
高梁市立高梁中学校合唱部	銅賞
岡山県立高梁高等学校コーラス部	銅賞
岡山県立岡山城東高等学校合唱部	銅賞
倉敷少年少女合唱団	銅賞
コール・ゆうふんげん	銅賞
合唱団こぶ	金賞 全日本理事長賞

### 【事務局通信】

現在決まっている来年度の予定をお知らせします。各団の行事日程を決める際の参考にしてください。

①合唱講習会 講師:辻 秀幸先生(曲作り)

3月29日(日) 会場未定

6月6日(土) 岡山シンフォニーホールイベントホール

②春期合唱講習会 講師:河合孝夫先生(発声法)

5月9日(土)高梁会場(高梁市文化交流館ホール)

5月10日(日)岡山会場(岡山大学・金光ホール)

③第68回岡山県合唱フェスティバル

6月7日(日)岡山シンフォニーホール

講師は 浅井敬壹先生、辻 秀幸先生

④第38回全日本おかあさんコーラス中国支部岡山大会

6月28日(日) 倉敷市玉島文化センター

⑤第68回岡山県合唱コンクール

8月9日(日) 岡山市立市民文化ホール

## CONCERT INFORMATION

<p style="text-align: center;"><b>全日本合唱コンクール全国大会</b> <b>&lt;大学職場一般部門&gt;</b></p> <p>と き 11月22日(土)10:00 開演(大学1-3・室内) 11月23日(日)10:00 開演(同声・混声)</p> <p>ところ アルファあなぶきホール(香川県民ホール)</p> <p>入場料 3500円(当日券あります)</p>	<p style="text-align: center;"><b>全日本男声合唱フェスティバル</b></p> <p>と き 11月30日(日)10:00 開演</p> <p>ところ 岡山シンフォニーホール</p> <p>入場料 1500円(当日券あります)</p> <p>出場団体 全国から25団体が出場 高嶋昌二、清水敬一、山脇卓也先生指導の合同合唱も</p>
<p style="text-align: center;"><b>笠岡みたけ少年少女合唱団</b> <b>第21回定期演奏会</b></p> <p style="text-align: center;">“あわてんぼうのサンタクロース”</p> <p>と き 11月24日(月)14:00 開演</p> <p>ところ 笠岡市保健センター ギャラクシーホール</p> <p>曲 目 美しく青きドナウ クリスマスソング 他</p> <p>入場料 無料</p> <p>お問い合わせ 080-1011-4564(藤井)</p>	<p style="text-align: center;"><b>ノートルダム清心女子大学</b> <b>グリークラブ</b> <b>第51回定期演奏会</b></p> <p>と き 11月30日(日)16:30 開演</p> <p>ところ カリタスホール(大学内)</p> <p>曲 目 MISSA BREVIS (Nancy Telfer) 女声合唱曲集「空の匂い」/女声合唱のための 唱歌メドレー「ふるさとの四季」</p> <p>入場無料 問い合わせ 080-2935-1454(二反田)</p>
<p style="text-align: center;"><b>岡山理科大学</b> <b>混声合唱団クリスタルコール</b> <b>第38回定期演奏会</b></p> <p>と き 12月6日(土)16:30 開演</p> <p>ところ 岡山理科大学25号館8階・理大ホール</p> <p>曲 目 混声合唱組曲「IN TERRA PAX」 他</p> <p>入場料 500円</p> <p>お問い合わせ 080-2712-5758(山下)</p>	<p style="text-align: center;"><b>第24回夕なぎコーラス</b> <b>チャリティー</b> <b>クリスマスコンサート</b></p> <p>と き 12月13日(日)14:00 開演</p> <p>ところ 玉野市文化会館(ハウハウス)</p> <p>曲 目 合唱を楽しむ(Messe in A op.126) 夕なぎのクリスマス(ディスクニー曲集他)</p> <p>入場料 無料</p> <p>お問い合わせ 0863-71-0949(古賀)</p>
<p style="text-align: center;"><b>コーロ グリーチネ</b> <b>20周年記念演奏会</b></p> <p>と き 12月14日(日)14:00 開演</p> <p>ところ 倉敷市民会館</p> <p>曲 目 MISSA BREVIS (Nancy Telfer) 初心のうた(信長貴富) グリーチネ in ウィーン/ロシア民謡</p> <p>入場料 1000円</p> <p>お問い合わせ 090-8608-5003(平川)</p>	<p style="text-align: center;"><b>岡山大学グリークラブ</b> <b>第61回定期演奏会</b></p> <p>と き 12月20日(土)18:00 開演</p> <p>ところ 岡山シンフォニーホール</p> <p>曲 目 混声合唱とピアノのための「この星の上で」 混声合唱曲集「旅のかたに」 企画ステージ</p> <p>入場料 500円</p> <p>お問い合わせ 080-2712-7110(松岡)</p>
<p style="text-align: center;"><b>瀬戸内混声合唱団</b> <b>創立30周年記念演奏会</b></p> <p>と き 平成27年1月18日(日)14:00 開演</p> <p>ところ 倉敷市児島文化センター</p> <p>曲 目 戴冠式ミサ(Mozart) 混声合唱組曲「風のうた」(大中 恩) À la carte</p> <p>入場料 1000円(前売り800円)</p> <p>お問い合わせ 086-473-3180(山本)</p>	<p style="text-align: center;"><b>倉敷混声合唱団</b> <b>第9回定期演奏会</b></p> <p>と き 平成27年1月25日(日)14:00 開演</p> <p>ところ 倉敷市芸文館</p> <p>曲 目 朝のパン(萩 京子) 日本抒情歌曲集(林 光) 愛の歌(ブラームス)</p> <p>入場料 500円</p> <p>お問い合わせ 080-2712-7110(松岡)</p>

### 【事務局通信】

時のたつのは早いもので、あと3週間後に迫ってきた男声合唱フェスティバル。先日、大学以上の団体にはノルマとしてチケット販売をお願いしましたが、ノルマ達成のため仕方なくといえども、購入いただいた方は必ずシンフォニーホールに足を運んでいただきますようお願いいたします。

男声合唱フェスティバルに出演する岡山県連の団体は、出演順に「メンネルコール“I”」「音羅ヴォーカルアンサンブル」「晴れの国男声合唱団」「コーロ・ロチェアーノ」「倉敷男声合唱団」「コーロ・ロータスOB会」「コーロ・ロータス」の7団体です。音羅は“合唱団こぶ”の男声部です。晴れの国男声合唱団には岡山混声合唱団、岡山市民合唱団鷺羽、瀬戸内混声合唱団、倉敷男声合唱団、メンネルコール“I”、西大寺混声合唱団、コーロ・ロータ

スOB会、コーロ・ロチェアーノのメンバーが総勢32名参加しています。そして岡山県連では初の試みですが、女性も参加してくれます。その方々は、安藤佐智子(萌え木)、脇本恵子(クライネ)、若松佳子(萌え木)、横畑 幸(山陽女声)の4人です。指揮は理事長・小池芳弘、ピアノ伴奏は五福克美(山陽女声)で演奏します。

大会の運営スタッフを募ったところ、多くの団体から手を挙げていただきました。本当にありがとうございます。松下副理事長も書いていますように“おもてな・し”の心で、全国からの合唱仲間を迎えたいと思います。

スタッフの方で都合が悪くなったらできるだけ早く、事務局又は担当部長に連絡してください。どうぞよろしくお祈りいたします。頑張りましょう。(内田)